

報道関係各位

## 学校法人京都薬科大学 次期学長の決定について

学校法人京都薬科大学は、赤路 健一学長の任期満了(2026年3月31日)に伴い、2025年12月19日の理事会において、現在、和歌山県立医科大学 薬学部 教授である平田 收正氏を次期学長として選出いたしましたので、お知らせいたします。

なお、任期は、2026年4月1日から2030年3月31日までの4年間です。

### 【次期学長 略歴】

1. 氏名 平田 收正 (68才)【新任】
2. 現職 和歌山県立医科大学 薬学部 教授
3. 最終学歴 大阪大学大学院薬学研究科応用薬学専攻博士後期課程修了
4. 学位 薬学博士(1987年)
5. 専門分野 応用環境生物学
6. 任期 2026年4月1日～2030年3月31日(4年間)
7. 略歴等 別添参照

### 本件に関するお問い合わせ先

京都薬科大学 企画・広報課

担当:山口、仲達

TEL: 075-595-4691 FAX: 075-595-4750

[kikaku@mb.kyoto-phu.ac.jp](mailto:kikaku@mb.kyoto-phu.ac.jp)

## 平田 收正氏の略歴等

### 【学歴】

1982年 3月 京都薬科大学薬学部生物薬学科 卒業  
1984年 3月 大阪大学大学院薬学研究科応用薬学専攻博士前期課程 修了  
1987年 3月 同 博士後期課程 修了 薬学博士(大阪大学)

### 【職歴】

1987年 4月 大阪大学薬学部 文部技官  
1987年 5月 同 助手  
1992年 3月 文部省在外研究員(ドイツ・ミュンヘン大学)(～1993年1月)  
1993年 6月 大阪大学大学院薬学研究科 助教授  
2006年 4月 同 教授  
　　同 附属実践薬学教育研究センター長(～2012年3月)  
2008年 4月 同 副研究科長(～2012年3月)  
2013年 4月 同 附属薬用植物園長(～2021年3月)  
2014年 4月 大阪大学 グローバルコラボレーション・センター長(～2016年3月)  
2015年 5月 大阪大学大学院薬学研究科 附属薬学地域医療教育研究センター長  
(～2020年3月)  
2015年 9月 大阪大学 副理事(～2019年8月)  
2017年 10月 大阪大学大学院薬学研究科 先進健康科学(サラヤ)共同研究講座  
　　兼任教授(～2021年3月)  
2018年 5月 同 副研究科長(～2021年3月)  
2019年 9月 大阪大学 総長補佐(～2021年3月)  
2021年 3月 同 退職 大阪大学名誉教授  
2021年 4月 和歌山県立医科大学薬学部 教授(副学部長)

### 【受賞歴】

2002年 武田研究奨励賞 優秀賞  
2009年 生物工学会論文賞  
2015年 大阪大学総長顕彰 教育部門

### 【主な著書】

1. 平田收正, 三浦喜温. ニチニチソウ培養細胞の凍結保存. in 凍結保存 (酒井昭編), pp.183-185, 朝倉書店, 東京 (1987).
2. Hirata, K., Miyamoto, K., Miura, Y. *Catharanthus roseus* L. (Periwinkle): Production of vindoline and catharanthine in multiple shoot cultures. in Biotechnology in Agriculture and Forestry, Vol. 26, Medicinal and Aromatic Plants VI (edited by Bajaj, Y. P. S.), pp. 46-55, Springer-Verlag, Heidelberg (1994).
3. Hirata, K., Phunchindawan, M., Sakai, A., Miyamoto, K. Cryopreservation of *Armoracia rusticana* P. Gaert., B. Mey. et Scherb. (horseradish) hairy root cultures. in Biotechnology in Agriculture and Forestry, Vol. 50, Cryopreservation of Plant Germplasm II (edited by Towill, L. E. and Bajaj, Y. P. S.), pp. 57-65, Springer-Verlag, Heidelberg (2001).

4. 平田收正, 永瀬裕康. 微細藻類による排水からの有害重金属除去. in 植物機能のポテンシャルを活用した環境保全・浄化技術 (池道彦, 平田收正 監修) , pp. 38-44, シーエムシー出版, 東京 (2011).
5. Hirata, K. and Miyasaka, H. Biosensors for Toxic Heavy Metals. in Handbook of Metal Biotechnology: Applications for Environmental Conservation and Sustainability (edited by Ike, M., Yamashita, M., and Soda, S.), pp. 179-194, Pan Stanford, Singapore (2012).
6. 平田收正. 第1章大学における学修とは. 第I部 私たちはどのようにして大学で薬学を学ぶのか,in 新スタンダードシリーズ第1巻モデル・コア・カリキュラムで学ぶ薬学 (新スタンダード薬学シリーズ編集員会編) . pp. 3-16, 東京科学同人, 東京 (2024).

#### 【学会における主な活動】

日本薬学会 教育賞選考委員会委員長、Journal of Health Science 編集委員、  
関西支部幹事 等  
薬学教育学会 設立時社員、理事、第4回薬学教育学会大会実行委員長 等  
日本生物工学会 Journal of Fermentation and Biotechnology 編集委員、評議員 等

#### 【薬学教育に係る学外での主な活動】

2010年 日本薬学会薬学教育改革大学人会議委員  
2011年 日本薬学会薬学教育委員会委員  
薬学教育協議会薬学教育者ワークショップ実施委員会（現 実務実習指導薬剤師養成研修委員会）委員長  
2012年 薬学教育評価機構評価委員会委員長  
2013年 日本薬学会モデルコア・カリキュラム改訂調査研究委員会委員  
2018年 薬学教育協議会業務執行理事（学術正会員）  
2021年 文部科学省薬学部教育の質保証専門小委員会委員  
2022年 文部科学省薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会委員  
2024年 薬学教育評価機構薬学教育質保証委員会委員長